

# 視聴覚教育

NO. 478

発行日

R5. 1. 10

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

## これ知ってる！？ 「web3.0」

個人で情報を管理し、個人で直接つながり合うインターネットのシステムのこと。今のSNSを中心としたシステム(web2.0)では、SNSを運営する企業に情報が集中するという問題がある。その解決として、メタバースなどのweb3.0化が進められている。

## 文房具としてのiPad、その先へ

藤川小学校 校長 塚谷 保

寒空の下、校庭を子供がゆっくりと歩いている。視線は傍らの茂み、手にはiPad。どうやら、「冬」をカメラに収めたいようだ。ある学級では、教室で見つけた三角形や四角形をスクールタクトで共有し、子供が「いいね」を送り合っている。iPadが文房具のように「当たり前なもの」として教育活動にとけ込み始めた。それでは、「普段使いのiPad」の、その先に見えるものとは、何だろうか。

七月二十一日の教育新聞で、山形県天童市立天童中部小学校の活動が紹介されている。その名もマイプラン学習。子供が学習の計画を立て、好きなところから好きな方法で学べる単元内自由進度学習だ。――子供たちはいっせいにタブレットや筆箱、ワークシートなどを抱え、思い思いの場所へと散らばっていった。「今日は算数と国語、どっちにしようかな」「おれ、算数。行ってきます」――教師が事前に渡す「学習の手引き」を参考に、課題を解決し本時の目標に到達するために、子供はそれぞれの学び方で学んでいく。廊下に隣接するオープンスペースや教室には資料が掲示されており、寝転んだり、数人で集まったり、一人になったりと、まさに子供

による「自学・自習」が進められている。授業時間の約二割とはいえ、思い切った方針に魅力を感じた。

中でも、タブレットは重要な道具となっている。――デジタル図鑑で昆虫の体を360度回転させて調べたり、インターネットで動画を探したりと、文房具と同じように各自が好きなタイミングで活用していた。――やはり、文房具としての活用という方向性に間違いはない。その先にあるものは「子供による活用方法の選択」ということではないだろうか。先の実践では、ゴキブリ駆除用品の仕組に関する動画をひたすら見つめる子供もいたという。完全変態と不完全変態について学ぶうちに、はまってしまったとのこと。これは、教師が事前に用意できる資料とは思えない。学びを子供にゆだねることで、子供が学びを拓くのである。一朝一夕にたどり着く境地ではないだろう。iPadは便利な道具ではあるが、情報モラル上の問題を起す道具ともなることは明らかだ。しかし、子供に寄り添った子供による学びが、彼らの幸せや将来の豊かさにつながるとしたら、「ゆだねる教育」の可能性は計り知れない。道具はある。後は、私たちの勇気次第なのかもしれない。

## 視聴覚教育あれこれ！！ 自作視聴覚教材の活用を

今年度も「おかざき映像教材研究会」による教材制作が進められています。今年度は、四班集体で取り組んでおり、理科教材を一本、社会科教材を二本、道徳科教材を一本、制作しています。

コロナ禍で例年通りの社会見学が行えなかった学校もあると聞きます。社会科の映像教材を活用することで、見学に行かなくても現地の様子を知ることができたり、携わる人々のインタビュー等を聞くことができたりします。理科では実験が難しい内容や、視覚的に見ることが困難なものを映像で補うことができます。道徳教材の制作は、今年で二年目となる試みですが、映像がもつ情意に訴えかける力は大きいと考えています。

二月の学習情報主任会において、全教材を収録したDVDを配付する予定です。これまでに配付した教材も含め、積極的な御活用を願います。

### 作品の題名

- A班 「どうしてその色？」
  - B班 「松應寺横丁」また来たくなる町を目指して」
  - C班 「ポン菓子でアフリカを救え」
  - D班 「僕はゆーとして生きる」
- ～家田製菓の挑戦～  
性別をこえた自分らしさ

### ～作品の紹介～



A班 「どうしてその色？」



B班 「松應寺横丁」

## 実践報告 II

### 総合「中学生に向けて、広げよう交流の輪」

常磐南小学校 鈴木 康平

未来型教育の一環として、本校の六年生と来年度同じ中学校に進学する予定の他校の六年生とで、Teams を用いたオンライン交流会を行った。来年度同じ中学校に進学する六年生が、事前に交流し中一ギャップを解消することを目的とした。

交流会では、Teams のビデオ会議機能を使って教室の様子を大型ディスプレイに映し出し、自己紹介や学校紹介、児童同士の質疑応答を行った。児童からは、「幼稚園・保育園以来、初めて顔を見て話ができてよかった」「僕の名前を覚えてくれて、うれしかった」「初めて顔を合わせた子だったけど、同じアニメやゲームが好きだと分かって、中学校で会うのが楽しみになった」など今春に期待がふくらむ感想が目立った。

オンラインであっても、六年生同士が実際に顔を合わせ会話することは、中学校への不安をやわらげるために有効な手だてであると感じた。同様に二学期、道徳の授業を行ったところ、多面的な意見の交流から、相互理解が深まった。

Teams を活用した学校間交流では、中学校の先生が小学生を対象に授業を行ったり、中学生が直接小学生に生活の様子や魅力を伝えたりするなど多くの可能性を感じた。



## II レッツ・トライ！情報モラル II

### 「SNSのトラブルの防ぎ方を考えよう」

北中学校 岩月 聖将

中学一年生の授業で「SNSの画像投稿のトラブルの防ぎ方」について考えた。生徒にとって身近な写真や動画の投稿を教材として、SNSに画像や動画を投稿する危険性や責任の所在について考えた。

始めに、NER For School の動画を視聴した。動画であったため、生徒はより分かりやすく場面を把握することができた。友達のBさんに自分の写真を送った主人公のAさん、クラスのCさんに頼まれてAさんの写真を送ったBさん、Aさんの加工画像を投稿したCさん。

「この三人の内、いちばんいけないのは誰だと思います」と問うと、始めはCさんという意見が多かった。

そこで、「本当にCさんだけかな」と問い返すと、Bさんしか送っていないと言ったAさん、Cさんに頼まれただけと言ったBさんもそれぞれいけないことに気付く生徒が増えてきた。

そして、授業の終末では、SNSで画像や動画を扱う際には、投稿する前に一度、考えなければならぬという意見に収束した。

情報機器の発達により、画像や動画投稿のハードルが低くなっていると感じる。だからこそ、情報モラル教育が大切であると再認識した。



## ライブラリーだよ

### ●教材・機材貸出の御案内

視聴覚ライブラリー教材・機材を利用したい時は、曜日・時間に関係なく申込できるネット予約がお勧めです。OKリンクから検索「視聴覚ライブラリー」で視聴覚ライブラリーHPを開き、予約システムにログインしてください（詳細は各校に配布の『視聴覚教材目録』や学習情報部HPに掲載されている教材等予約システム利用者マニュアルを参照）。IDとパスワードが分からない時は、学習情報主任を通してライブラリーまでお問い合わせください（電話予約可能）。

貸出期間は貸出日を含めて七日以内（七日目が休館日の場合は休館日以降最初の開館日まで）、貸出日三か月前から予約可能です。

教材は、巡回郵便での送付ができます。利用する場合は「利用目的」欄に「巡回郵便希望」と入力してください。返却時は宛先を「視聴覚ライブラリー」として送ってください。

### 【機材予約はお早めに】

毎年二月末から三月中旬にかけて学校行事関係での申込が多くなります。一般の利用も多い時期ですので、かなり混み合います。

主に、プロジェクトとデuplicーター、近年はビデオカメラの希望が多いので、それぞれ早めの予約をお願いいたします。

連絡先 電話 23-6789

